

免許状教科	高等学校 1 種 (地理歴史)		
科目名	地理歴史科教育	科目分類	教職科目
			経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Geography and History Education	開講年次	<input type="checkbox"/> 1 年 <input type="checkbox"/> 2 年 <input checked="" type="checkbox"/> 3 年 <input type="checkbox"/> 4 年
ふりがな	かまだ ゆきお	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	鎌田 幸男	修得単位	4 単位
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
授業のテーマ	模擬授業を通じて教育実習に役立つ学習内容と指導方法を身につける。		
到達目標	教材研究とはどのようなことか具体的に知る。地歴教育の今日的な課題を知る。		
授業概要	地歴の教科を担当する教員に求められる基本的な知識や資質について考える。模擬授業の実施、指導案の作成、教材研究の仕方、教材の精選、授業方法などを取り上げる。また模擬授業を通じてお互いに意見を交換して授業意識の高揚を図り、評価力を高めることを目的とする。		
授業計画			
第 1 回	オリエンテーションー授業の計画と模擬授業説明。	第 17 回	学習指導案作成の意義と教材研究のこと。
第 2 回	教育課程の意義 (1) 教育課程のしくみについて。	第 18 回	学習指導案の評価について
第 3 回	教育課程の意義 (2) 学習指導要領の必要性。	第 19 回	模擬授業 (1) 地理。
第 4 回	学習指導要領の変遷 (改正) について。	第 20 回	模擬授業 (2) 地理。
第 5 回	学習指導要領 (1) 問題解決学習から系統学習へ。	第 21 回	模擬授業 (3) 地理。
第 6 回	学習指導要領の変遷 (2) 総合的な社会科へ。	第 22 回	模擬授業 (4) 地理。
第 7 回	学習指導要領 (3) ゆとり教育から確かな学力へ。	第 23 回	振りかえりと意見交換 地理的分野 (1)
第 8 回	新学習指導要領の概要について。	第 24 回	模擬授業 (1) 歴史。
第 9 回	アクティブ・ラーニングの指導法とは (1)	第 25 回	模擬授業 (2) 歴史。
第 10 回	アクティブ・ラーニングと (2) 反転授業とは。	第 26 回	模擬授業 (3) 歴史。
第 11 回	模擬授業 (1) 意義と方法	第 27 回	模擬授業 (4) 歴史。
第 12 回	模擬授業 (2) 準備と実施について。	第 28 回	振りかえりと意見交換 歴史的分野 (2)
第 13 回	模擬授業の受講態度について (意見を述べる)。	第 29 回	授業することの意義と評価
第 14 回	模擬授業構想発表 (1) 地理の授業。	第 30 回	地歴教育を振りかえって (1) 意見交換
第 15 回	模擬授業構想発表 (2) 歴史の授業。	第 31 回	まとめ。地歴教師の課題意識。
第 16 回	前期定期試験	第 32 回	後期定期試験
授業時間外の学習	現代社会の様々な社会事象に関心をもち、特に教育に関する新聞記事など情報を豊にする。		
履修条件 受講のルール	教職の資格を取得するというばかりでなく、教師としての意識を持ち、授業に前向きな姿勢と態度をもって臨んでほしい。他の学生の模擬授業も自分が行っていると同じように考え意見を述べるようにする。		
テキスト	授業時に必要な資料を配布する。事前に欠席の申出のある場合は配布するが、無断欠席の場合は配布しない。		
参考文献・資料	「高等学校学習指導要領解説 (地理・歴史編) 最新版。その他は講義時に随時紹介する。		
成績評価の方法	① 定期試験 (50%)—前期 (25%) 後期 (25%) ②指導案 (20%) と模擬授業 (30%) , ①②の総合評価とする。		
オフィスアワー	月、金曜日 (11:30-12:50) ②これ以外の場合は事前連絡により日程の調整をする。。		
成績評価の基準	秀 (100~90) 優 (89~80) 良 (79~70) 可 (69~60) 不可 (59 点以下) ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納付金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		

学生への
メッセージ

教職を意識した受講になるよう意欲的に頑張りましょう。